

## 令和4年第2回定例会 一般質問通告一覧表

氏名 (受付日時)	番号	質問事項	質問の具体的な内容
1. 蜂須賀千雅 5月13日 9:00	1	社会教育委員会議提言(シニアが生き生きと生涯学習できるまちづくりを目指して)の中の提言4項目について	① 提言を作成するに至った経緯と目的について ② 提言の対象4項目についての現状と課題と、課題解消に向けた今後の具体的な取組について ア 社会教育施設などの活用の充実について イ 地域活動などの充実について ウ 学校教育と社会教育の連携の充実について エ コロナ禍以後の課題の対応について
	2	市民の口腔ケア意識の向上への取組について	① 令和4年度の東大和市の口腔ケア事業について ② 歯周病の有無と新型コロナウイルス感染症への罹患率の関連性について ③ 市民への口腔ケアの必要性に関する情報提供について
2. 木戸岡秀彦 5月13日 9:00	1	新型コロナウイルス感染症対策について	① ワクチンの接種状況と今後の取組について ア 若者の接種が進んでいないと聞いているが、感染拡大防止のため、接種の加速及び接種の意義や重要性について情報発信を行うなど、啓発を強化するべきと考えるが、現状の課題と今後の取組について伺う。 ② 自宅療養者、濃厚接触者に対する食料支援など、現状について伺う。 ア 対象者に対し、わかりやすく情報を広報する必要があると考えるが、市の認識と取組について伺う。
	2	玉川上水駅周辺の魅力あるまちづくりについて	① 駅前の空き店舗の活用について ア 市の認識について伺う。 イ 空き店舗について事業者及び市民に、どのように情報提供を行っているのか。 ウ チャレンジショップ等で活用することにより、賑わいの創出につながると考えるが、商店会、商工会などに働きかけることはできないか。 ② 駅前広場の有効活用について ア 市民の憩いの場として、休憩スペースの設置やイルミネーションなど、魅力ある情報発信はできないか。 ③ ストリートピアノの設置について ア 音楽を通して交流を生み出し、まちの活性化につながると考える。西武池袋線江古田駅には鉄道会社及び近隣大学との連携により設置され好評であったと聞いている。当市においても、乗降客が多い玉川上水駅連絡通路及び駅構内に設置を働きかけることはできないか。 イ 公民館に設置してあるピアノをストリートピアノとして活用できないか。
	3	防災対策について	① 防災訓練の取組について ア コロナ禍により通常の訓練が実施できていないが、感染対策を取り趣向を凝らし、オンラインによる訓練も視野に入れ実施すべきと考えるが、今後の取組について伺う。 イ ペット同行避難訓練の実施に向けた検討状況とペットの避難所受け入れ体制について、どのようになっているのか、市の認識について伺う。

(木戸岡秀彦)	4	放課後等デイサービスとその後の居場所について	ウ マイ・タイムラインを活用した実施訓練の推進状況について伺う。 ① 各施設の利用状況と定員の推移及び課題について伺う。 ② 現状の待機者について伺う。 ③ 高校卒業後の受入施設がなく、悩みを抱えている家庭があると聞いている。支援の体制を充実させる必要があると考えるが、市の認識について伺う。
	5	視覚障害者のためのバリアフリー化について	① 音響式信号機の設置について、今まで要望があった箇所の進捗状況について伺う。 ② 令和3年度、警察庁が東京・大阪・愛知など都市部の交差点2,000か所に通信機器を設置し、歩行者用信号の色を音声で伝えるスマートフォンアプリを使えるようにしているが、当市としても検討はできないか。
	6	自治会の取組について	① 高齢化により自治会の担い手不足が問題視されているが、市の認識は ② 自治会加入者が年々減少傾向にある中、加入者の促進を図るため、立川市では、地域のつながりを広げ、市内の協力店等で優待サービスが受けられる「絆カード」を発行している。当市でも商工会や商店会などと連携し取り組むことはできないか。
3. 根岸 聡彦 5月13日 9:01	1	新型コロナウイルス感染症対策について	① 感染状況について ア 感染の現状は イ 現時点での対応状況と今後の対策は ② ワクチンの接種状況について ア 市内における年齢層別のワクチンの接種状況は イ ワクチン接種率を高めるための対策は
	2	東大和市の下水道事業について	① 下水道会計について ア 下水道会計の収支の現状は イ 今後の課題と対応策及び展望は ② 管渠の更新について ア 管渠の老朽化の現状に対する市の認識は イ 更新のための具体的な手立ては
4. 床鍋 義博 5月13日 9:01	1	ごみ行政について	① ごみの量の推移について ② ごみ減量の取組について ア 行政の取組について イ 民間企業との連携について ③ 不法投棄について ④ ごみ分別について ⑤ 市民への広報について
5. 大后 治雄 5月13日 15:45	1	複合災害について	① 東大和市国土強靱化地域計画と東大和市地域防災計画を中心とした防災と復旧について ア 複合災害の定義と考えられ得る最悪の想定とは何か。 イ 地震災害、風水害、火山噴火災害と新型コロナウイルス等感染症への備えは ウ 他自治体の対応は エ 関係行政機関からの指針等情報の提供や指導などは オ 市民からの要望・意見などは カ 目標と課題、今後の対応は

<b>6. 東口 正美</b> 5月16日 8:58	1	妊婦健康診査受診票について	① 妊婦健康診査受診票の助産院での取扱いについて ア 東京都の見解は イ 東大和市での今後の取扱いについて ウ 他市の状況について エ 今後の課題について
	2	樹木の管理について	① 「東大和市樹林地・用水保全事業計画」に基づく、狭山緑地、野火止用水、上仲原公園で現在までに行われた内容と今後の取組及び課題について ② 「東大和市樹林地・用水保全事業計画」の推進に対する経費の内容について ③ 東大和市全体の今後の樹木管理計画に対する考えについて
	3	デジタルデバイド（情報格差）解消の取組について	① 東大和市民のデジタルデバイド（情報格差）に対する市の認識は ② スマホ未利用者について ア スマホ教室の開催などの取組について a 東大和市の取組は b 参考となる他市の事例は ③ デジタルデバイド（情報格差）がある中で、行政のデジタル化の取組の現状と課題について ア P a y P a yなどのキャッシュレス決済について イ マイナンバーカード取得後のマイナポイントの付与について ④ デジタルデバイド（情報格差）解消のための今後の取組について
<b>7. 中野志乃夫</b> 5月16日 9:32	1	公共施設等総合管理計画について	① 手狭となっている社会福祉協議会を建て替え、子ども家庭支援センターと併設すべきではないか。 ② 休日急患診療所は利便性の悪い場所のままで良いのか。他施設との併設も含め検討されているのか。
	2	広報掲示板について	① 以前より少なく目立たず、探すのも困難な場所もある。もう少し、目立つ場所への移設や新設など市民や土地所有者に協力を求めることが可能ではないか。
<b>8. 大川 元</b> 5月16日 13:10	1	新型コロナウイルスワクチン接種について	① 副反応等の相談体制について ② 副反応に対する診療体制について ③ 今後のワクチン接種について
	2	空堀川沿いの快適な環境について	① 空堀川の管理用通路を散策する市民のために沿川にトイレを設置することについて
<b>9. 佐竹 康彦</b> 5月17日 15:32	1	小・中学校の水泳学習において民間活力を生かしていくことについて	① 市内小・中学校施設の維持管理上におけるプールの在り方について ア 年間維持費はどのようになっているのか。 イ プール施設の維持管理の課題はどのようなものか。 ② 市内小・中学校の水泳学習の在り方について ア 体育授業において、水泳学習は年間どのくらい行われるのか。 イ 児童・生徒の泳力向上にどのような取組をしているのか。 ウ 水泳学習における熱中症対策はどのようになっているのか。

(佐竹 康彦)		<p>2 電子図書館の導入について</p> <p>3 道路の維持管理について</p>	<p>③ 小・中学校のプール施設の廃止と水泳学習の民間委託について  ア 他県・他市の事例があるが、市として視察など研究に取り組んだことはあるのか。  イ 市として、これまでどのような検討がなされてきたのか。  ウ 今後、どのような展開をしていこうと考えているのか。</p> <p>① 他自治体における電子図書館の導入状況はどのようになっているのか。  ② 電子図書館の導入に関する市の認識はどのようなものか。  ③ 電子図書館の導入について、市としてこれまでどのような検討がなされてきたのか。  ア 市立図書館の場合  a 電子書籍の特性と、図書館の住民サービスに与え得る影響について  イ 学校図書館の場合  a 電子書籍の特性と、学校での教育や子どもの読書活動に与え得る影響について  ④ 他自治体や国、教育機関等の他機関との連携について、どのようなことが考えられるのか。</p> <p>① 市がこれまで実施してきた道路調査の結果を踏まえた今後の維持管理の在り方について伺う。  ② 市民協働の一環として、道路通報システムを活用した取組が他自治体で行われているが、それに対する市の認識と導入への考えを伺う。</p>
<p>10. 和地 仁美 5月17日 15:50</p>	<p>1 経済状況の変化への対応について</p> <p>2 人事行政について</p>		<p>① 令和4年度の予算編成時には、現下の原油価格の高騰や円安などの影響による物価高騰は予測していなかったと思う。  ア 光熱費などの経費予算への影響予測と対応方法について  イ 行政サービスへの影響の有無と対応について  ② 学校給食について  ア 現在の経済状況の学校給食に対する影響は  イ 魅力ある学校給食、食育の充実を維持するための市の考えは</p> <p>① 現状と課題について  ア 現在の人事行政上の課題は何か。  イ 課題解決のための取組と効果について  ② 採用について  ア 新卒採用の現状と課題について  イ 中途採用の現状と課題について</p>
<p>11. 荒幡 伸一 5月18日 9:32</p>	<p>1 物価高騰に伴う給食費の在り方について</p> <p>2 がん教育の取組について</p>		<p>① 給食費の値上げ等、現在の検討状況について  ② 小中学校・保育園・幼稚園それぞれの課題について  ③ 新型コロナウイルス対応の地方創生臨時交付金の活用について  ④ 給食費を1ヶ月間無償にするなど、更なる支援について</p> <p>① 健康と命の大切さを全ての子供たちに知らせる授業が必要だが、以下それぞれの取組状況と現状について伺う。</p>

<p>(荒幡 伸一)</p>	<p>3 HPVワクチンについて</p> <p>4 コロナ禍における東大和市のスポーツ振興(環境)について</p> <p>5 ご遺族支援(おくやみ)ワンストップサービスについて</p>	<p>ア がん教育のプログラムや教材について イ これまで担当した講師について ウ がん教育の充実に向けた、外部講師との連携について</p> <p>② ワクチン接種で予防できるがんの学習について、授業の中で正しい知識を身に付けることが必要と考えるが、以下それぞれの市の見解を伺う。 ア B型肝炎について イ 子宮頸がんについて</p> <p>① 積極的勧奨が再開されたが、今後の進め方について ② 接種対象者への周知方法や個別のお知らせについて ③ キャッチアップ接種(対象者は平成9年度～平成17年度生まれ)について ④ キャッチアップ接種の対象以前に生まれた方への対策について ⑤ 過去にHPVワクチンを1回または2回接種した場合での、残りの回数に対応について伺う。</p> <p>① 市民がスポーツを楽しめる環境が極めて少なくなっており、改めてスポーツの意義に気づかされたが、今後の当市のスポーツ振興の展開など、市の見解を伺う。 ② 健康増進・認知症予防、介護予防など、運動予防医療として、また、多世代交流やコミュニティづくりのため、ウォーキングサッカーを健康づくり施策に取り入れてはどうかと考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>① 家族が亡くなった際の手続は、ご遺族は悲しみの中で行わなければならない。手続ごとに異なる窓口を回り、申請書には何度も同じ内容の記載を求められ、手続そのものの負担だけでなく、心の負担にもなっている。 ア 当市に提出される死亡届の年間件数について伺う。 イ 死亡に伴う手続の申請書は何種類あり、提出先はいくつの窓口に分かれているのか伺う。 ウ 死亡に伴う申請手続の流れと所要時間について伺う。 エ 先進的に「ご遺族支援(おくやみ)コーナー」を実施している自治体では、事前予約をし、手続に必要な申請書を一括して作成するワンストップのサービスを実施しているが、このような支援は市民・ご遺族にとってどのようなメリットがあるのか、市の見解を伺う。 オ ご遺族の負担が軽減でき、窓口業務の時間削減にもつながる「ご遺族支援(おくやみ)コーナー」が当市でも必要であると考えますが、市の見解を伺う。</p>
<p>12.木下 富雄 5月18日 10:08</p>	<p>1 市が関わるイベントの開催について</p> <p>2 災害対策用井戸について</p>	<p>① 産業まつりの開催に向けての現状と課題は ② 福祉祭の開催に向けての現状と課題は ③ うまかんべえ～祭の開催に向けての現状と課題は</p> <p>① 災害対策用井戸の現状と課題は ② 災害対策用井戸の今後の運用に向けての取組は</p>

<b>13.上林真佐恵</b> 5月18日 10:30	1	教育環境について	① 市の教育予算について ② 不登校について ア 推移と今後の見込みは イ サポートルームの拡充と保護者支援について ③ 少人数学級の実現と小・中学校の統廃合について ④ 給食費について ア 物価高騰の影響と対策について イ 保護者負担の軽減について
	2	尊厳ある生理期間を過ごすための取組について	① 市の認識は ② 生理用品を小・中学校や公共施設に整備するための課題は
	3	子どもたちの豊かな育ちのための取組について	① 虐待やヤングケアラーなど、子どもたちの現状についての市の認識は ② 子ども家庭支援センターの拡充について ③ (仮称) 東大和市児童発達支援センター及び認可保育園等について ④ 子どもの医療費助成について
	4	保育・学童施策について	① 待機児童対策の現状と課題について ② 保育士・学童保育所指導員の処遇改善について ③ 市立狭山保育園の段階的廃園について ④ 副食費について
<b>14.中間 建二</b> 5月18日 10:51	1	ロシアによるウクライナ侵略戦争が市民生活に与える影響と対策について	① ロシアのウクライナ侵略戦争の終わりが見えない中、長期的な燃料費や食料品等の物価高騰が懸念されるが、どのような認識を持ち、対策を講じていかれるのか。 ② 戦争が長引くことによって、精神的な不安を覚える方々への支援の在り方について ア 市としての相談支援の窓口について イ 小・中学校における対応について ③ ウクライナからの避難民の支援について
	2	旧日立航空機株式会社変電所を活用した平和事業の充実について	① 昨年秋の一般公開の再開以降、来場者数の推移及びその反響をどのように受け止めているのか。 ② 学校教育における平和教育の活用事例について ③ ウクライナの1日も早い平和の実現と世界の恒久平和を願う立場から、平和市民のつどい等の平和事業の充実、どのように取り組んでいかれるのか。
	3	空堀川の中砂の川橋上流付近から立野橋付近までの整備について	① 管理用通路や多目的広場等の整備を求めてきたが、いつまでにどのような整備がなされる予定なのか。 ② 多目的広場を市民の憩いの場として利用しやすいよう、ベンチ等の設置を検討できないか。
<b>15.森田 博之</b> 5月19日 13:35	1	中学校の運動部活動の地域移行について	① 生涯学習課スポーツ推進係の役割について ② 中学校における運動部活動について ア 運動部活動の意義と効果について イ 運動部活動の現状について ウ 教師による部活動指導と部活動指導員、外部指導員等外部人材の活用状況について ③ 地域のスポーツ団体等について ア 地域のスポーツ団体等の現状について イ 指導者について ④ 運動部活動が地域移行する場合の課題について ⑤ 地域移行した場合の効果について

(森田 博之)	2	市の文化財保護について	<p>① 市の文化財の内容について  ア 当市の文化財にはどのようなものがあるか。  イ 管理状況、必要経費はどのように把握しているか。</p> <p>② 文化財保護に当たっての課題について</p> <p>③ 文化財の価値を高めることに対する市の考え方について</p>
16.尾崎 利一 5月19日 15:58	1	コロナ危機、ウクライナ危機、物価急騰から市民の命と健康、暮らしと雇用、営業を守る取組について	<p>新型コロナウイルス感染による死者は令和3年の1万5千人に対し、令和4年は年明け3か月で1万人と激増し、今後についても予断を許しません。消費税増税からコロナ危機、また、ロシアのウクライナ侵略の影響と、市民の暮らしが大きく追い詰められてきました。さらに、アベノミクスの失敗による円安も重なり、物価の急騰が追い打ちをかけています。市民の暮らしを守り、住民福祉の増進を図るための行財政運営が求められています。以下、伺います。</p> <p>① 市民の命と暮らしにどのような影響を及ぼしているのか、現状認識を伺います。</p> <p>② 市民の命と健康を守る施策について伺います。</p> <p>③ 暮らしと雇用、営業を守る取組について伺います。</p>
	2	市民サービス切り捨て、負担増と市財政について	<p>① 市は99の市民サービスの廃止・縮小を決め、さらに今後も廃止・縮小を検討・推進するとしています。国保税の6年連続値上げや公民館等の有料化など市民負担増も推進しています。しかし、暮らしの実態からみれば、市民サービスの拡充と負担軽減こそ必要なのではないですか、伺います。</p> <p>② 市民サービスの廃止・縮小の必要性について、市は、「現在の厳しい財政状況が、さらに厳しさを増すことが見込まれてい」るからとしています。説明を求めます。</p>
	3	ひきこもり対策について	<p>① ひきこもり問題についての認識を伺います。</p> <p>② 当市の取組の現状と課題について伺います。</p>
	4	国・都・市有地の活用、特に特別支援学校、特養ホーム、保育園など福祉施設、スポーツ施設の整備・拡充について	<p>① 日本共産党市議団が一貫して要求してきた国・都・市有地を活用した福祉・スポーツ施設の整備・拡充の課題は大きく動き始めています。現在の到達点とこの間の推移、市の取組や検討状況について伺います。</p>
17.実川 圭子 5月20日 9:13	1	公園について	<p>① 樹木、遊具、ベンチ等設備の整備状況と今後の進め方について  ア 地域環境力活性化事業補助金を活用した事業について  イ 遊具の更新について  ウ ベンチ、パーゴラ等設備について</p> <p>② こどもの遊びの充実の観点から見た、公園の在り方について考えを伺う。</p>
	2	地域で自立した生活を送るための支援について	<p>① 地域福祉権利擁護事業について</p> <p>② 若者の自立に関する支援について</p>
18.森田 真一 5月20日 11:30	1	公共施設等総合管理計画等と市財政への影響について	<p>市の公共施設等総合管理計画・公共施設再編計画について、計画の考え方や市財政への影響について市の認識と今後の課題を伺います。</p>

<p>(森田 真一)</p>	<p>2</p>	<p>地域公共交通について</p>	<p>① 令和4年7月4日より芋窪地域コミュニティタクシー「いもたく」の試行運行が開始されます。先に行われた湖畔地域での試行運行の経験を踏まえた今後の課題を伺います。</p> <p>② 新堀・清原・高木などの地域から市役所や東大和病院がある市の中央部へのアクセスの改善を求める市民の声が依然として多く聞かれます。これまでの市の取組と今後の課題について伺います。</p> <p>③ 市は、これまで公共交通空白地域の解消のために都バスの運行費用の一部負担やちよこバスの運行、コミュニティタクシーの試行運転等を進めてきました。住民の高齢化等もさらに進み、従来の交通空白地域の定義も実態に合った見直しが必要なのではないかと考えます。また、高齢のため自動車運転免許を返納したり、自転車の使用を控え、移動手段を公共交通機関へと切り替える方々が増えています。当初の交通空白地域の補完という考え方からさらにニーズ自体が発展しているものと思いますが、これらに対応するためにどのようなことが必要となるのか、市のこれまでの取組と課題を伺います。</p> <p>④ 気候危機打開のために地域交通の部門でも二酸化炭素排出量の大幅削減が求められています。市の認識を伺います。</p>
	<p>3</p>	<p>生活保護行政について</p>	<p>生活保護制度の利用は、日本国憲法第25条で「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とうたわれ、等しく与えられた国民の権利です。</p> <p>一方で、世間には「生活保護に陥るのは恥だ」という誤った認識もまだ多く残っており、その権利行使を阻む大きな要因になっています。そこで以下伺います。</p> <p>① 令和2～3年度中の保護申請件数に対し、扶養照会が行われた件数と親族の扶養を得られた件数を伺います。</p> <p>② これまでも生活保護申請時に原則扶養照会が行われることを説明されたため、申請を諦めたというケースが多々見られました。申請の大きな障害となっており、また、市が調査にかける事務負担に対し、親族から得られる経済的な扶養はほぼ皆無であったことから、その実質はすでに形骸化していることもわかりました。扶養照会は申請者の希望に基づく場合に限るべきと考えますが、市の今後の対応について伺います。</p> <p>③ 受給者の方々から、昨今の著しい物価の高騰に見合った保護費の支給にしてほしいという要望が多く聞かれます。市の見解を伺います。</p> <p>④ 近年の猛暑による熱中症の対策のため、生活保護世帯でもエアコンの購入ができるよう徐々に改善が図られてきましたが、依然として必要性がありながら経済的余裕がなく購入できない世帯も残されています。市のこれまでの取組と課題について伺います。</p>
	<p>4</p>	<p>がん検診について</p>	<p>市民の死因の3割をがんが占めています。これまでの市のがん検診の受診率向上のための取組と今後の課題について伺います。</p>